

からかい上手の高〇さんCG集

わかりやすい誘惑で
やっとな西〇をその気にさせた高〇さんのCG集



基本32枚
差分合わせて58枚

北〇さんも少しだけ

わかりやすい誘惑で

やっとな西〇をその気にさせた高〇さんのCG集



初めてオレの部屋で一緒に勉強した後、
何度も部屋に来るようになった高木さんとの距離は
どんどん近くなっていた。

改めて考えてみたら
元々近かった気もするけど、
それより近くなるってことは――。

西片
少しの間、
後ろ向いてて

後ろからカサカサと
衣擦れの音が聞こえてきた。

わっ!
た、高木さん!
隠してっ!

なんでいきなり
脱いでんのさ!

今までいっぱい
勝負に勝ってきたからさ
ちよっとお願い聞いてほしいな

わかった!
言うこと聞くから!
でも脱ぐのは関係ないよねっ!?

じゃあ西片も脱いで

オ、オレも!?

脱いで

う、うん…

ちよこつと
ココ舐めてみて

ココをツ!?



こ、これでいいの？

うーん
たぶん

たぶんって……

したことはないから
わかんないや

へへえ

西片はあるの？

ないよっ！

キスは？

もちろんないよ！

西片のファーストキス
ココになっちゃったね

ええ……
変なこと言わないでよ

あれ、これだけちよっと
硬くなってる……。
なめてみよ

んんっ

反応が違う…？
ここがいいのかな…

あれ？
これは高木さんを
追いつめてるって
言っているんじゃないか

ふう

んんっ

ぴくっ

ぴく

ぴくっ

れろ

れろ

うっ

ああっ

あっんっ

あああっ

あう

んあ
んんんんっ！

もっ
もっ
と重点的に…

かつ

はあっ

ああっ

声、出ちやう

んっ

んっ

んあっ

ぷっ
ぷっ
ぷっ

ぴく

えへへ

恥ずかしいね
こういうのって

西片、

きて

これでいいの？

うん
そのまま
腰を入れてく感じで

う、うん
そうだね

でも気持ちよかったよ
ありがと

ぴく

しちや

しちや

ぴく

んっ

んんんっ

気持ちいい……

すっごい気持ちいいよ高木さん！

少し待ってね

え？

うん

んんっ
少しなら
動いていいよ

…そっか
よかったね

動いていいの？





んっ

んんっ

あっんっ

んっ

うあっ

ご、ごめん高木さん!
痛かった!?

ううん
大丈夫

うん

落ち着くまで
少しこのままにいるね

高木さんは温かくて
柔らかいよ

西片はカチカチだね

ど、どこが

どこのことだと思う？

それは――

もう動いて
大丈夫……かな

どうしたの
高木さん

あったかいね

少しずつ動いてね



あっ

んんっ

んっ

んっ

ぐちゃっ

んっ

ズン

ズン

あっ

あっ

んんっ

ぐちゃっ

ぬる

大丈夫?
痛くない?

んっ

少し痛いかも。
でも大丈夫

ご、ごめん高木さん
気持ちよくて
いっぱい動いてた！

そのまま動いて
大丈夫だよっ



ああ…
ごめん高木さん
イツちやった

気持ちよすぎて
我慢できなかったよ

…少しの間
このままで
いてほしいな

…いいよ

はあ

はあ



先にこんなことしておいて
なんだけど
オレ、高木さんのことが好きだ

付き合ってほしい

早いよっ！
迷わないのっ！？

いまさら？

確かに
今更かもしれないけどさ

うん、いいよ

はあ

はあ

はあ

はあ

この日から
高木さんが家に来たら
身体の関係を持つようになった。

好きだよ
西片

高木さんとの関係は変わった。
これだからかわれることもなくなると
ちよっとは期待していたんだけど、
エッチの時以外は特に変わらなかった。

これから
一緒にいようね

高木さんと
こうしていられるのは
幸せだし、一緒にいたいけど
恥ずかしさに慣れることはない。

ちゅっ
ちゅ



大丈夫？
高木さん

あっ

あっ

いっ

んう

んんっ

はんっ

うん…
大丈夫、みたい

あっ

んっ



…気持ち…
…いいよ…

んあっ

んんっ

い…んんっ

しゃぶ

しゃぶ

しゃぶ

しゃぶ

しゃぶ

んっくっ

はあっ

ああっ

そのまま続けて

こうして
何回も体を重ねている内に
気付いてしまった

ふあっ

はあんっ

んんんっ

あああんっ

ああああああんっ!!



これなら勝てるんじゃないかと

高木さんが部屋に来るたびに
追い込んでいたと思う

なにが勝ちでなにが負けか
わからないけど

あう

西片
それ変な
感じがする

ひく

んんっ

ひく

あっ

ひく

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

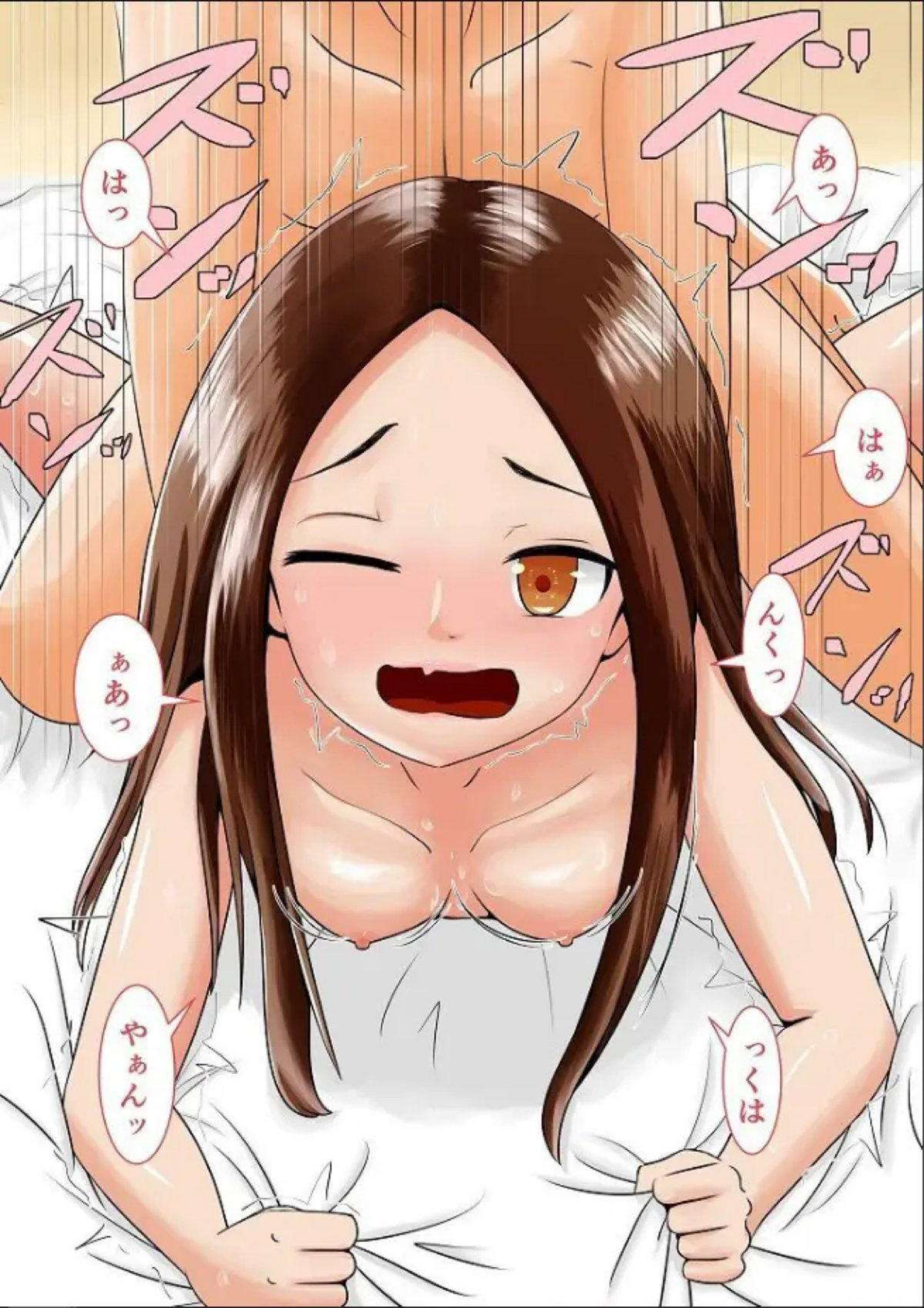
ろろ
ろろ

んっ

やっぱりここを
いっぱい舐めれば
いいんだ

ろろ
ろろ

こっちから勝負だって
言うのも恥ずかしいし



あっ

はあ

んくっ

つくは

はっ

ああっ

やあんッ

あっはっ

んああっ

んあっ

んんっ

.....んんんああッッッ!!

びく びく っ



はあはあ

はあはあ

はあはあ
はあはあ

…西片…
まだまだ
元気だね…

ちよっと休んでからね…

しばらくして
家以外のところでも
こういうことを
するようになった

ぬるる

ぽろぽろ

じゅん

体育倉庫で

……西片……

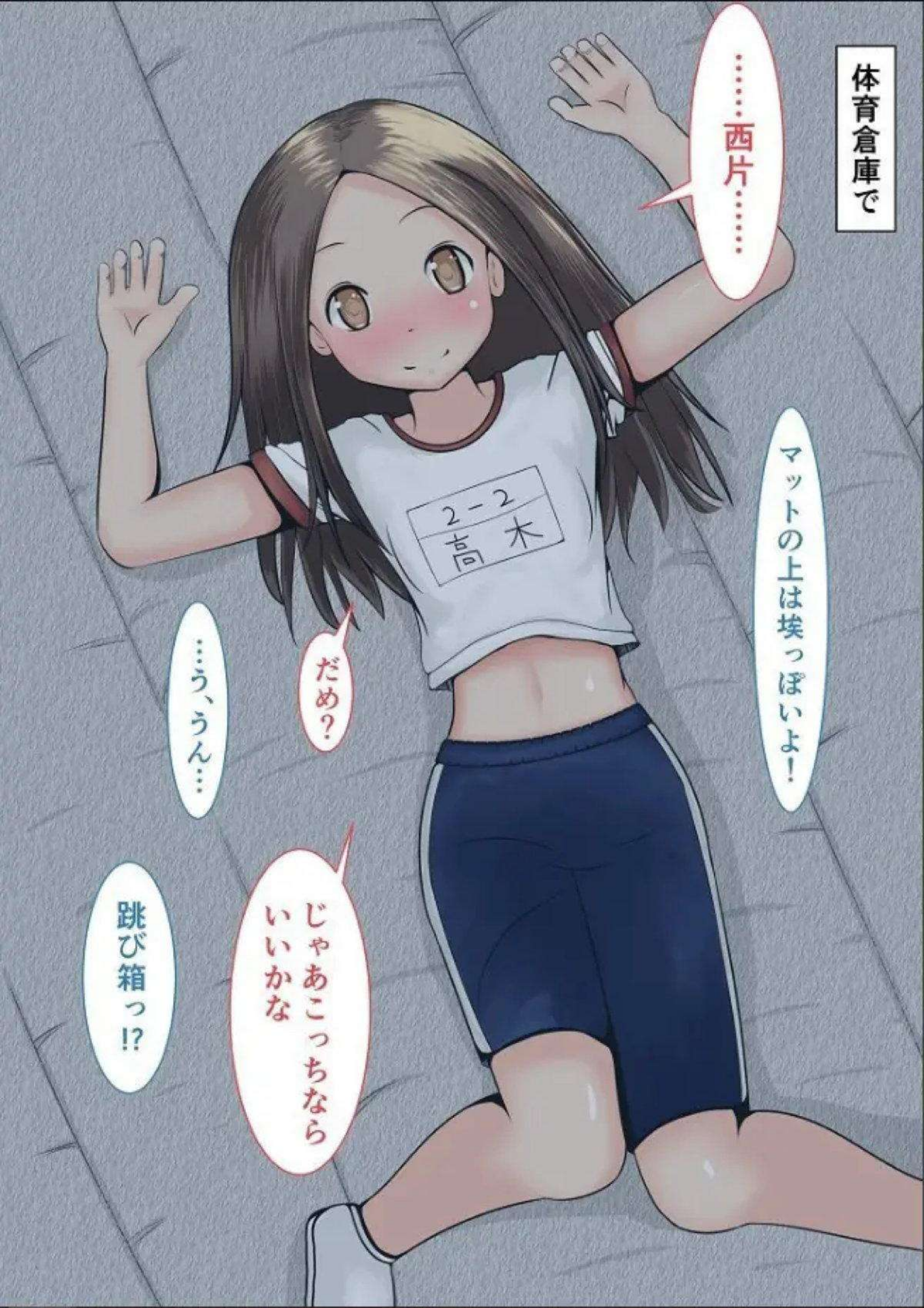
マットの上は埃っぽいよ！

だめ？

……う、うん……

じゃあこっちなら
いいかな

跳び箱っ!?



準備できたよ

脱ぐのに躊躇いが
なさすぎだよ！

ほらほら

早く

あんまり
時間ないよ？

でも

あの二人
体育倉庫で
何かしてるのかな？
って言われてるかも
しれないよ？

わ、わかったよ

もうヌルヌルだ…

だから
シタかったのかな

んんんっ

する

する

にゅるんっ

にゅる



わっ

んっ!!

ズッ

あゐ

しあゐ

あっ

んっ

...激しい、ねっ

くちゅ

ズッ

ズッ

ズッ

時間もないから一気に
してみようと思って

あっ

ぴく、

あっ

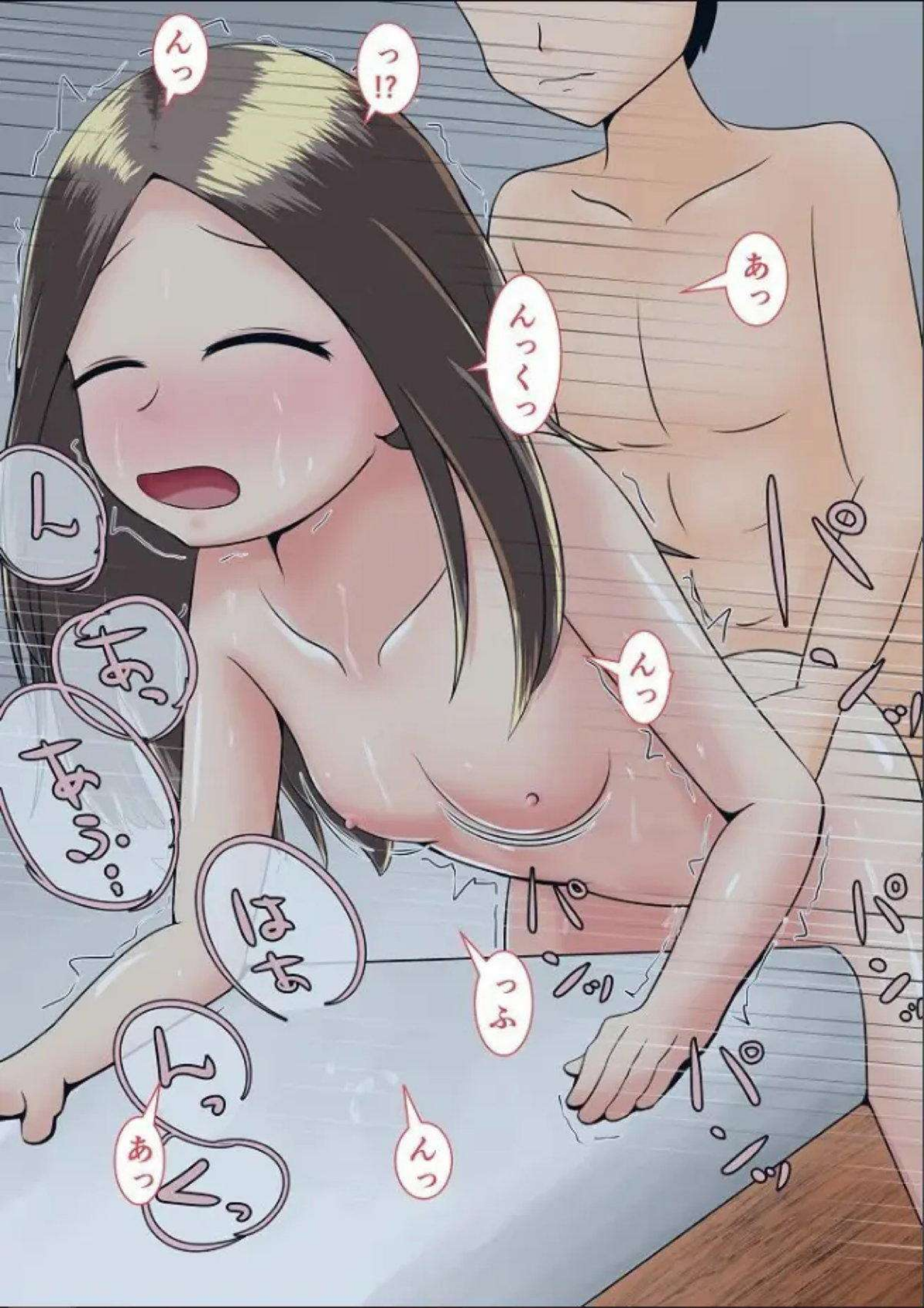
んっ

あっ

んんっ

くちゅん

いっ
いっ
っ



んっ

っ!?

あっ

んっくっ

んっ

っふ

んっ

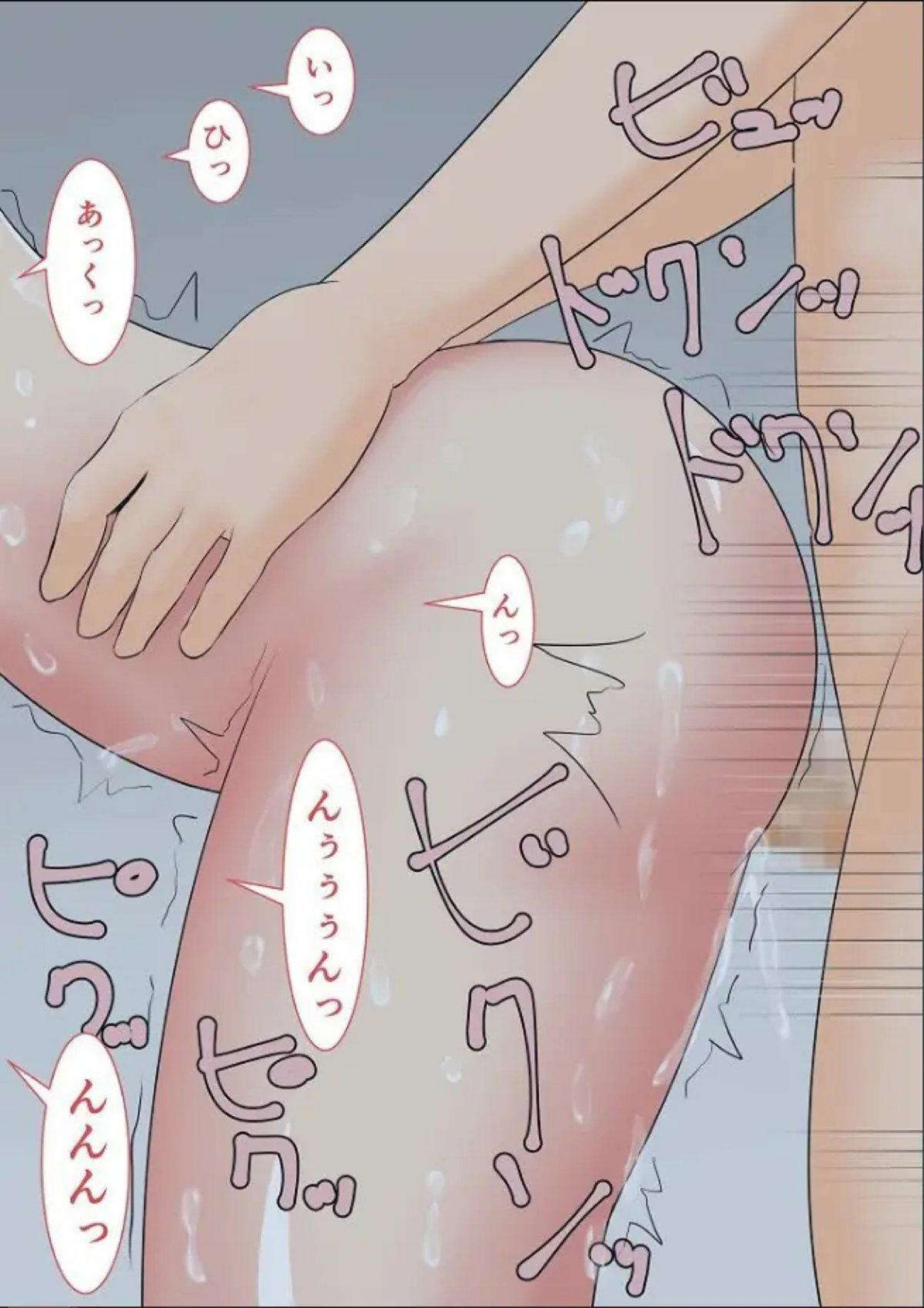
あっ

はっ

はっ

はっ

っ





はぁ

はぁ

はぁ

んっ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

ぷるぷる

びしょ

びしょ

びしょ

ぷるぷる

体育倉庫を出た後
高木さんに言われて
いつの間にかできていた怪我を
保健室で消毒することにした。

保健室

消毒が終わった後、
高木さんはそのままの態勢で
こちらを見つめてくる。

ほら

脱いで

ええっ！

ここでっ!?

うん

西片がナニ想像したのかわからないけど
また大きくなっちゃったみたいだから。

あ、脱がしてほしかった？

じ、自分で脱ぐよ…

2 - 2
高 木

え？

ん、
あーん

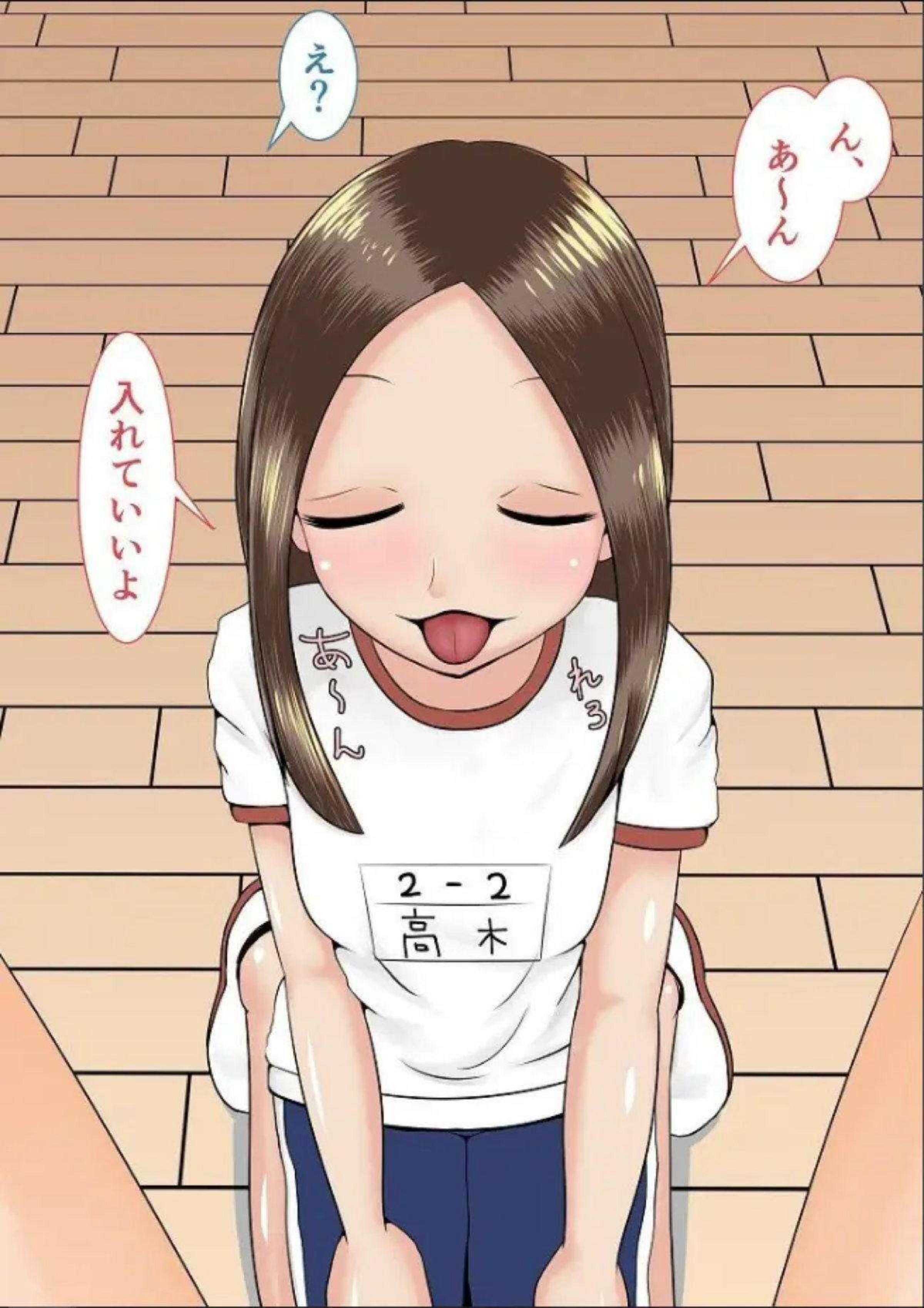
入
れ
て
い
い
よ

あ
ー
ん

れ
ろ

2 - 2

高 木



したくないの？

ほ、本当にするの？

？

うん
するよ？

硬くなってるし、
したそうな顔してるから。

そんな顔してるかなあ

2 - 2
高 木



ねえ西片

どうしたの高木さん

西片って
なめられるの
好き？

高木さんがこういうこと
してくれるのは好きだけど

嫌なことあったら
必ず言ってね

じゃ、じゃあ
からかわれるのが



わ、うわあ



気持ちよさそうな
顔してる

う、うん
間違いなく
気持ちいいんだけど
そういうことじゃなくて

もっと
舌使った方が
よかった？

あの、あのね
オレからかわれるの――





またイツちやったね

高木さん、
すごくうまくなってるね……

西片のこと
ちゃんと見ながら
してるからね

ちよっとベッド
使おっか

うん



促されるままベッドで

高木さん
もうすっごい濡れてるよ

もうすっごい濡れてるよ

口でシテたら
欲しくなっちゃった

ああつ

んんんっ！

い
く
ん

す
ちよ

だ
ち

2019

お、うん

時間、ないからっ

あっ

んんっくっ

激しく、

シテいいよっ

ズ

ズ

ズ

ズ

うんっ

もう腰が止まらないよっ

もっと荒っぽく、

強くして、

いいからっ

声、我慢……できないや

いぐ

びぐ

びぐ

そっ

それっ！

そのままっ

あっ

んああっ

んんんっ

あああっ

んんんんんんんんっ！！

いぐ

びぐ

ぬす

いぐ
すん
ん



うん
そうだね

って急がないとっ

はあ
はあ
はあ
はあ

そろそろ

……戻ろっか

ぴん
ぴん

しゅ
ぬるん

天川さんに見られ
たかもしれない

え？ ウソ
本当にしてる？
こんなところで？

ಮೈಸೂರು

見られちゃったよ
高木さん！

そうだね

どどどどどしよっ

出しちやて
いいよ

そういうことじゃなくてつ

ぴくぴくしてるよ？

早くしないと
他にも人来ちやうかも

ど、どうなの？

あ、口でしてる。
すごいわね
高木さん

なんだか
緊張してイケないよ！

そう？

もう出そうなのに

そ、そんなに早く
イカないって！

え？
数で勝負じゃないの？

そんなことは——
うわっ、くっ、んっ、んんっ。
きゅ、急に本気出さないで

あ、イッた？
ビクってしてる

しー

しゅぽぽぽ
びびびび



やっぱり
私の勘違いだった？

の、飲んじやった……？
アレって飲むものなの……？

びく
びく

ぽく
ぽく

ごめんね
いきなり出しちゃって

ううん、いいよ

急にどうしたの？

あ、目が合った
見てたのバレたわね……

あー、ちよつとね。
早く終わらせた方が
いいかなって。

そもそも
教室でこんなこと
しちゃダメなんだよ……

もう少し待って

あ、天川さんも見る？

次からは
もっと場所考えるね

でもありがとう
高木さん

ん？ なにか？

すつごく
気持ちよかったよ

どうだった？

キスは……
してなかったわ

そう、そうだよね
見間違いだっただんだ…。

見間違いかもしれないわね

ありがとう北条さん
スッキリしたよ

今は教室入らないで。
少し歩きましょう

え？ どうして？

空気の入れ替えとか
必要でしょう？

え？ ……え？ それって…
えっ？

…ねえ
北条さん
なに見たの…？

場所を変えよっか
天川さん

え？ 本当に
してたってこと？

高木さんと西片君、
あの時空き地で何してたんだろ？
ちよつと気になるな。

寄ってみよ





ありや
ども

どもってなんだよ
高木さあんっ!



あっ

あの時にかくれんぼじゃ
なかったんだろぅな

夜

高木さんと西片君
シテたよね…?
あんな場所…?

こう…かな?

あっ…いいかも…

…ぬるぬるしてきた…

ぴく

ぴく

ぴく

ぴく

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

ぷる







……ふっふっ……
……ふっふっ……

〇〇〇

はっ

んっ

ふう

ふう

イッ
クッ

びゅっ

びゅ

びゅ

びゅ

ああっ……はあんっ！



はあ

はあ

はあ

はあ

…ふう

……片付けなきゃ……

暑いな……

寝ちやいそう……

これなら
勝てるかもしれない

そう思い始めた頃に
高木さんが上になった
すごく気持ちいいんだけど
あっという間に負けてしまう。

西片
こういうのってどう?

どうもこうもないよっ

ダメだった?

…もっとしてほしい
…けど…

あ、気に入ったんだ

キィゃ〜

くしゃ

くしゃ



もっとしてあげるね

…くっ…
負けない…
負けるもんか…

これ、
前後に動いても
上下に動いても
気持ちいいね

あっ

高木さん

ゆっくり
動いて

ん？

うん、
じっくり
ゆっくり動いてるよ

そうなの…？
気持ちよくて
我慢できそうにないよ…

どっ
どっ
どっ

声…我慢しな…きや…
でも…ムリかも…

…余裕ないや…

反撃はしているけど、
なぜか勝った気がしない





勝ち負けよりも高木さんと一緒にいる
時間があればいいやって。
そう思うようになったのかもしれない。

…んふふ…

どうしたの高木さん

んーん
勇氣出して
よかったなって

…うう…

あれだけ
好きだよって言ってたのに
なかなか気づいてくれなくて…

わ、悪かったよ…
そういうの
よくわからなくて…

手、つないで

うん

離さないでね

うん



